

農林水産大臣賞

くきなが 荃永地区自治公民館（鹿児島県みなみたね南種子町）

未来と歴史のロマンが共存する中で培われた自助努力や相互扶助の精神のもと、住民が一体となって活動を展開

1. 地区の概要

荃永地区は、南種子町の南東部に位置する豊かな自然や緑に恵まれた農村地帯で、早期水稻や飼料用稲、かぼちゃ等の園芸作物などが栽培され、古代米「赤米」伝承地であり日本最大のロケット発射場があるという、歴史と未来が共存する地区である。

2. 団体の概要

公民館は5つの専門部（総務部、文化部、産業部、青少年育成部、体育部）で構成され、地区内の各種団体代表で構成する運営委員会と連携し、毎月開催する話し合い活動のほか、地区のマップを活用したワークショップ手法により住民の合意形成を図っている。

3. 団体の取組み

- 県内で先駆けて「耕畜連携による飼料用稲栽培」の仕組みを構築し、離島のハンデであった畜産農家の購入飼料費のコスト低減を実現し、町内の飼料用稲の栽培拡大と畜産業の振興に寄与。
- 自治公民館や地域の各団体長等が連携して募集方法、受入れ家庭などを話し合い取り組んだ、「宇宙留学制度」で都市住民との交流を図り、留学終了後には空き家を紹介し、移住・定住の助言を行うことで、地域の在り方に共感したIターン・Uターン者の増加に貢献。
- 全国で3箇所しかない古代米「赤米」伝承の地として、赤米御田植祭等の伝統神事を継承する取組みや、青年団や子供達を含めた地区全体で行う収穫祭、「赤米つのまき」等の特産品開発を通じて、住民同士の絆や強い郷土愛を醸成。



マップ活用によるワークショップ



「宇宙留学制度」による受入れ



赤米御田植祭「御田植舞」